





〈第3号〉 善意新聞は、毎月22日に東大阪新聞特別号として発行

発行発起人・主幹 東大阪新聞八尾柏原支社 別所憲隆 〒580-0016 八尾市八尾木北3-137 電話/FAX072-993-2037

### 善意新聞の基本理念

善意新聞の発行理念は、次のことに基づいています。

我々の宇宙には、聖実在より社会法則として、全ての人々が守るべき一大基本法則(黄金則)があるうけられており、他のすべての諸法則・諸原理は、この基本法則の上に確立されています。

それは、「自分にされたいことを他の人々に為す」というものです。

というのは、もし各人が自分自身の内に最も(聖なる)最高(靈・善)を反映し、全ての人々がその法則を守る(善行)ならば、そこには不調和・不正義、暗黒もなければ苦しみもなくなります。

これを基礎にしたのが善意新聞であります。

そして、更に各人が自然の各基本法則の理解、我々の住む宇宙の各基本法則の理解にと進歩し、「自分にされたくないことを他の人々にしない」、「相手の欲するものを与え、相手の欲さないものを与えない」という新時代の法則(黄金則)の働き手となるのです。

するとそこには、平和・調和・光があり、喜びがある地上天国、つまり新黄金世界が築けるのです。

### ●主旨●

全ての人々に内在し潜在している、聖なる善意に基づいた、様々な善行をお届けすることにある。

### ●目的●

他者の善行に動機づけられ、勇気づけられ、自己の聖なる善意を表現し、全ての人々が聖なる善行で平和な人生を送ることにより、真・善・美に満たされた家庭・職場・地域・社会・国づくりにあら。

### ●理念●

一、自分にされたいことを他の人々に為す(これが基盤となり)  
二、自分にされたくないことを他の人々にしない  
三、相手の欲するものを与え、相手の欲さないものを与えない

## 『愛の光の生命のメッセージ502』を読む会

●会場 大阪市立総合生涯学習センター(大阪府立総合生涯学習センター) 第2ビル5階  
●開催日時 30日(火) 7月27日(水) 9月9日(月) 18時30分~20時  
●参加費 1000円

お問い合わせは文化創造俱楽部へ E-mail:ono@bunkasozo.com TEL/FAX072-993-2037 携帯070-5432-2795

# あなたの善意をお届けします

チエルノブリ原発事故から25年経つが、傷痕は深くまだしまじめである。チエルノブリ原発事故のとき、原発からの放射能汚染による病に苦しむ人、病に苦しむ子どもたち



バンドウーラを弾きながら歌うナターシャ・グジーさん

バンドウーラの音色に魅せられ、8歳から音楽学校の専門課程で学ぶ。1996年、1998年、2000年に来日し本格的な音楽活動を開始した。今では、全国を回ってバンドウーラ演奏と歌を歌って第一のチエルノブリ救援団体の招待で来日。その後、2000年に

8年にチエルノブリ救援団体「笠置音楽会」でデビュー。日本で「音楽の旅」はじめ数曲歌つて、多くの人に知られるようになっていっている。

チエルノブリ原発事故から25年経つが、傷痕はまだしまじめである。チエルノブリ原発事故のとき、原発からの放射能汚染による病に苦しむ人、病に苦しむ子どもたち

チエルノブリ原発事故から25年経つが、傷痕はまだしまじめである。チエルノブリ原発事故のとき、原発からの放射能汚染による病に苦しむ人、病に苦しむ子どもたち